

信州上田観光ビジョン ～旅のミュージアム都市上田の創造～(概要)

ねらい

平成15年に年間訪日外国人数1,000万人を目指すビジット・ジャパン・キャンペーンがスタート。平成18年12月には観光立国推進基本法が成立し、観光を21世紀の国の重要な政策の柱にすることが法律上明確化された。

こうした中、上田市では観光をリーディング産業と位置づけ、菅平高原から美ヶ原高原までの幅広い地域資源を生かした観光施策を展開してきた。

今、観光を取り巻く環境は大きく変化しており、観光をビジネスとして大きく発展させていくためには、さらに戦略的な政策展開を行っていく必要がある。

上田市の魅力とは何か、上田市が狙うべきターゲットはどのような人々か、そして、このターゲットに対して上田市はどのような商品やサービスを提供していくのか。観光ビジョンは、市民、観光関連事業者、各種団体、行政が協働して、このような課題に取り組む、戦略的に観光振興を図っていくための方策を示すものである。

●基本コンセプト

～都会人の第2のふるさと(理想の田舎)を目指す～

上田市の魅力を

より高めるための課題

- ・感動を呼ぶ地域ブランドづくり
- ・多様な楽しみの創出
- ・ターゲットに応じた戦略展開
- ・観光基盤の整備

豊かな自然環境と田園風景、城下町の風情、伝統のある温泉地、ノスタルジックな別所線など、田舎としての上田が観光地としての強みである。しかし、世界遺産となるような田舎の風景を擁する地域と同じ土俵で勝負しても勝ち目はない。そこで、東京から新幹線で1時間半程度という首都圏に近い地理的条件を活かして、「ちよっぴり田舎気分を味わいたい都会の人々のための理想の田舎」を基本コンセプトに地域づくりを行う。

観光ビジョンの構成

はじめに ～日本をリードする観光立市への挑戦～

- 第1章 上田市の魅力をより高めるための課題
- 第2章 地域を元気にする基本コンセプトの確立
- 第3章 多様な地域資源が生かされた「旅のミュージアム都市上田」の創造
- 第4章 訪れた皆さんに喜んでもらえる観光戦術を考える
- 第5章 観光まちづくりへの道
- 第6章 観光ビジョンの実現に向けて

～上田市内の様々な癒しの風景を活用して、上田市らしい様々な田舎の形を提供する～

9つの地域協議会の答申を受けて第一次上田市総合計画に盛り込まれた「地域まちづくり方針」等に基づき、上田市内に7つのエリアを設定。観光客に様々な田舎の姿を提供する。

体験農業エリア

稲倉の棚田、麻蒔りんご園など、田舎暮らしに憧れを抱く都会の観光客に理想の田舎体験を提供できる地域。

まゆの里エリア

蚕室づくりの町並み、桑の生産に使われた段々畑など養蚕の最盛期を今に伝える風景と里山や桜つつみホテル水路など自然あふれる風景に包まれた地域。

城下町エリア

上田城、城下町として整備された町並み、北国街道の面影を残す家並み……歴史を体感できる風景が今に生きている地域。

水辺エリア

「上田 道と川の駅」の整備も計画されており、水辺の体験メニューを提供できる地域。水辺の体験については、他のエリアのメニューとともにPR。

ローカル線で味わう田園エリア

多くの史跡・文化財に加え伝統ある温泉に恵まれた地域。別所線から眺める田園風景は、観光客の心を癒してくれる市の象徴的なスポット。

高原エリア

真田氏発祥の地であり、スポーツ合宿のメッカ菅平高原を擁する地域。豊かな自然環境を生かした参加・体験型観光で、上田市の観光の牽引役となる。

自然と健康エリア

丸子温泉郷と優れた医療機関の連携による健康をキーワードとした観光地づくりが可能な地域。美ヶ原高原をはじめとした武石地域の雄大な自然も魅力。

～上田の魅力を高める7つの柱～

観光地上田の全体像を踏まえ、観光施策を戦略的に展開していくため、「信州上田観光ビジョン」では、82の具体的な施策から構成される「戦略の7つの柱」を示す。

- 上田らしさのブランドづくり
- 観光メニューの充実
- おもてなしの基盤づくり
- ターゲットに応じたおもてなし
- スペシャル・インタレスト・ツアーへの挑戦
- プロモーションを含めたマーケティング
- 観光ビジョンを実行し、改善するしくみ

具体的な施策の主なもの

- ・郷土料理の発掘とブランド化
- ・お土産品等のブランド化
- ・ホテルによる地域イメージの向上
- ・田園風景を象徴する別所線のランドマーク化
- ・上田の歴史文化の物語を学ぶ旅(カルチュラルツーリズム)の推進
- ・フィルムツーリズムの推進
- ・まちなか観光の推進
- ・農業・農家体験観光の推進
- ・国民保養・国民保健温泉地の丸子温泉郷と医療機関の連携による療養プログラムの開発
- ・旅の企業家(アンタビプレナー)の育成と支援
- ・ボランティアガイド講習会等の充実
- ・外国人旅行者へのおもてなしの向上
- ・教育旅行を対象とした体験プログラムの開発・提供と誘致活動の実施
- ・やすらぎ・癒しツアープログラムの開発
- ・SIT(スペシャル・インタレスト・ツアー)コンテストの開催
- ・マーケティングノウハウの蓄積
- ・国内の旅行博や商談会への参加
- ・旅行代理店やマスコミを対象としたファムトリップの実施
- ・観光ビジョンを実行する組織の設置
- ・周辺市町村との連携の強化

観光まちづくりへの道

住む人が魅力を感じるまちをつくり、結果として、訪れる人にも魅力的なまちができる。

市民が観光まちづくりの中心である。

- 1 おもてなしの心
- 2 景観を市民の手で守り、つくりあげる
- 3 地域を歩いて、まちの魅力を発見しましょう

観光ビジョンの実現に向けて

- アクションプランの策定
- 各主体の役割
- 実績の評価と見直し
- 目標値の設定

2011信州上田六文銭プロジェクト (案)

戦国武将「真田幸村公」をキーワードに六文銭施策を展開！！

基本コンセプト

「成長発展期」における観光事業を推進する上で、「六文銭」にちなみ6つのポイントを位置づけ、施策を展開する。

戦略 (6つの施策)

- ① 誘客イベントの推進
- ② 「上田の旬」活用事業
- ③ 広域連携事業の推進
- ④ 「市民力」積極的活用
- ⑤ 市民主体組織の充実
- ⑥ 受入体制基盤の整備

実施計画における事業の推進

- ジャパンフィルムコミッション総会
- 信州上田真田検定
- 中心市街地活性化事業
- 真田街道推進機構
- 真田氏発祥の郷事業

目標

- 真田幸村大阪城入城400周年を目指した取り組み
- 大河ドラマ「真田幸村公」の実現
- 市民が主役の観光イベントの実現

誘客イベントの推進

「信州上田」を全国ブランドにするため、四季を通じ誘客イベントを実施し、誘客を拡大するため、インバウンドへの取り組みを行います

【誘客イベント】

- ◆ 上田城千本桜まつり (4月)
上田城跡公園を主会場に賑わい創出イベントとまちなか回遊を推進
- ◆ 信州上田夏まつり (7月~8月)
夏のイベントを連携PR(上田わっしょい、七夕まつり、花火大会、上田ジョイント他)
- ◆ 信州上田紅葉まつり (10月~11月)
上田城跡公園の紅葉と地域の紅葉を連携PR、また、秋の味覚や真田三代にちなんだイベントを開催

【インバウンドへの取り組み】

- ◆ 留学生との懇談会、修学旅行の誘致 (通年)
成長市場の海外誘客促進のため、外国人にとっての魅力あるコースの作成、受け入れ体制充実などの取り組みを行います。



「上田の旬」を活かした事業

「戦国BASARA」など、旬の話題を捉えた特色あるイベントを推進する。(震災後の対応)

【旬の話題】

- ◆ 戦国BASARA劇場映画公開 (6月~)
ゲームソフト、アニメからブームがはじまった「戦国BASARA」で人気No. 1の真田幸村を活用し、商品開発、コスプレなど、戦国武将ブームを追い風に魅力的なイベントを開催。
上田市独自のバサラ図案の作成(右図)
- ◆ 信州うえだ発「がんばろう日本」応援宣言 宿泊割引 (7月~9月)
市内の旅館組合・協会加盟店で、東北と上田の特産品が当たる夏の宿泊キャンペーンを開催し、全国各地からお見えになる観光客の皆様を温かくお迎えします
- ◆ 信州上田真田検定
「信州上田」と「真田氏」に関する検定を実施し、上田ファン・真田氏ファンの増加を目指す

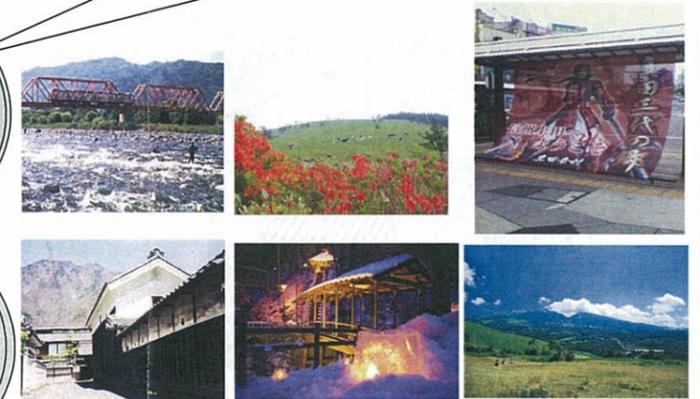


広域連携による事業の推進

真田三代関係自治体・団体、北陸新幹線延伸自治体など、広域連携を活用した事業を推進する

【広域連携】

- ◆ 真田街道推進機構 (4月~)
上田から沼田まで、真田三代(幸隆・昌幸・信幸・幸村)が統治したエリアを「真田街道」として位置づけ連携PRを実施
- ◆ 真田幸村大阪城入城400周年を目指した連携
2014年入城400周年を目指し、大阪市、九度山町、白石市など、真田幸村に関する自治体・団体との連携を推進
- ◆ 北陸新幹線延伸にむけた沿線自治体との連携
平成26年に金沢市まで開通する北陸新幹線の沿線自治体・団体との連携を推進



市民力の積極的活用

市民・民間主導のイベント(まつり)を行政協働で開催することで、「市民力」を積極的に活用する

【市民主導のイベント(まつり)】

- ◆ 上田城太鼓まつり (4月・9月・11月)
信州上田真田陣太鼓保存会主催による太鼓イベント(上田城太鼓まつり 4月/9月)、上田城太鼓サミット(11月) 第15回全国太鼓フェスティバル (10月2日) 日本各地で活躍している太鼓団体が、演奏を披露します。
- ◆ 日本一の秋まつり (9月18日)
NHK大河ドラマ「真田幸村公」放映を願う活動の一環として開催。(江戸芸かっぱれ、ねぶた引き等)

- ◆ イベントクラブによる観光事業へのサポートの実施
イベントの運営をサポートするボランティアの方々の組織「イベントクラブ」の活動を推進していきます

市民主体の組織体制充実 ~信州上田まつり実行委員会~

事務局 (上田観光コンベンション協会)

事業部会

信州上田まつり実行委員会

目標

市民活力の向上と観光イベント(まつり)によって地域経済活性化を目指す信州上田まつり実行委員会組織の充実を図る

受入体制基盤の整備

観光事業を推進する基盤整備(ソフト事業:コンベンション協会他、ハード事業:トイレ・看板等施設整備)

【受入体制基盤の整備】

- ◆ 上田観光コンベンション協会組織体制強化
観光宣伝、コンベンション、イベント、フィルムコミッション事業を効果的に推進できる法人化の検討
- ◆ 上田市産業開発公社組織整備
公社による観光事業支援(サポート)と、中心市街地活性化事業への取り組み体制の整備
- ◆ 観光トイレ、案内看板等施設の整備
観光客・市民にやさしい観光トイレ等施設の整備
- ◆ 真田氏発祥の郷誘客事業
真田氏関連の観光客を受け入れる拠点施設として、「ゆきむら夢工房」の周辺整備を実施する